

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		34,997	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換出 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		34,997	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量	15.86	t-CO ₂ / 千h	15.38	t-CO ₂ / 千h	20.19	t-CO ₂ / 千h	18.83	t-CO ₂ / 千h	18.11	t-CO ₂ / 千h
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 27.3	%	▲ 18.7	%	▲ 14.2	%
原単位あたりの みなし排出量						t-CO ₂ / 千h		t-CO ₂ / 千h		t-CO ₂ / 千h
削減率（対 基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

空調・塗装・表面処理などの操業に比例しにくい連続稼働設備が多くエネルギー量を同比率削減ができず原単位悪化。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の実践：冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ、ウォームビズの徹底 ・省エネ空調機への更新促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房温度28℃、暖房温度20℃の管理徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機の適正運用及びクールビズ・ウォームビズの徹底を実施中。 ・省エネ空調機への更新は順次実施中
省エネルギー・省資源の実践：照明	<ul style="list-style-type: none"> ・離席時、昼休み等には不要な照明の消灯を徹底 ・照明器具更新時には省エネルギー型の設備を導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具更新時には順次LED化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ活動を継続実施中。 ・照明器具更新時のLED化は適宜実施中。
自動車利用における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速をしない。アイドリングストップの確実な励行などエコドライブを推進する。 ・更新の都度低公害車にする。 	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ/低公害車の導入の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの推進を継続実施中。 ・社有車の台数見直し。
工場等の製造工程における対策	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善活動（業務効率化、不良率低減化、ムダ削減化）により、省エネ及び廃棄物削減化を推進する。 ・空調機及び冷蔵庫等について、フロン排出抑制法に係る定期点検を確実に実施し、フロンの漏洩を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善活動の継続 ・フロン点検の周知と実行 	<ul style="list-style-type: none"> ・表面処理槽の熱を逃げにくくする工夫により蒸気使用量の削減。 ・フロン含有機器の点検の実施 ・各部門でISO14001に基づいた取組計画を作成し実施中。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理マネジメントシステムにより、継続的な改善を推進。 ・太陽光発電システムの安定的な稼動を継続。 ・従業員への環境教育を定期的実施した。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<p>所内環境月間行事 (冷房の適正運用 (28℃) ・クールビズ推進、各種省エネ活動・省エネ点検、環境一般教育等) の活動推進。</p>
